



目次

1. 巻頭言
2. 令和3年度 開放型登録医療機関紹介
3. 派遣応援ナースを終えて
4. 新型コロナワクチン接種について
5. 3病棟紹介
6. 編集後記

国立病院機構の理念

私たち国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のために、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに、患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。



宮崎東病院の基本理念

「主役は病める人」をモットーとして患者さんの人権を尊重し、良質かつ高水準の医療を提供します。



巻頭言

新型コロナウイルス感染症・デルタ株

再び全国を新型コロナウイルス感染症が襲っている。第5波である。

宮崎県では7月18日に5人の報告があって以来、8月17日に111人の患者が発生し、27日までほぼ連日100人超えが続いた。8月21日には158人のピークを記録した。100人を超えたのは、以前は第3波（1月17日）の105人だけだったことから規模の大きさが分かる。お盆や夏休みの人の移動のためと考えられ、今後減少に転ずる可能性もあるが予断を許さない。

新型コロナウイルス感染症のこれまでの総感染者数は日本全国で147万人、死亡者は1.6万人である。またワクチン接種が進み、65歳以上では国の87.2%の人が2回の接種を終えた。しかし感染力の強いデルタ株に置き換わった為、ワクチン未接種の壮年・若年層に感染が拡大している。イスラエル、イギリス、米国などでも軒並み患者数が増加し、これまでの最大に近い。

このデルタ株について、もともとインド株と呼ばれ、インドでは2021年4-5月をピークに1日の新規感染者が40万人を超え医療体制が崩壊したと言われている。しかるに現在のインドは落ち着きを取り戻し、感染対策は解除に近いそうである。

インドの感染者数は報告では3200万人で米国の3900万人に次いで多く、死亡者も43万人で米国の63万人、ブラジルの57万人に次ぐと報告されている。

インドでなぜ感染が落ち着いたのか、これまで謎と言われていた。最近の報道ではインドではワクチン非接種者の抗体陽性率が高いことが判明したと言う。インドのワクチン接種率は現在22%である。一方非接種者では抗体陽性率が現在62.3%で、1月の24.1%から一挙に増加した。全体では67.6%の抗体保有率だそうである。集団免疫の獲得であろう。

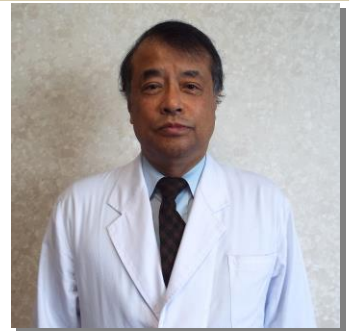
この理屈では米国でも感染は多かったのだから、集団免疫によって感染は防がれそうなものであるが、そうならない。報道の説明ではインドの感染実態は、死者数で既報告の10倍あったのではないかという。真偽は不明だ。

インド社会は感染による死亡のため多くの悲惨さを経験したという。夫と母親を亡くしたとか、両親を亡くしたという実例が多数あるそうである。日本でこれは受け入れられないだろう。結局のところ日本ではマスクやワクチン接種、薬剤投与しかない。

宮崎県では8月27日から9月30日まで、国のまん延防止等重点措置が発出された。

当院でも職員への厳しい行動制限、ご家族の協力依頼、複数回に亘る検査の実施、病院への入退室の管理、検温、感染看護師の指導・教育などを職員各自のご理解の下実施している。

「誰もが安心して病院に来られる環境」を維持したい。一般診療の維持、ワクチンや治療薬、消毒、ゾーニングなど地道な体制作りを継続していきたいと考えている。



院長
塩屋 敬一

令和3年度 開放型登録医療機関紹介

医療法人こごう こごうメンタルクリニック

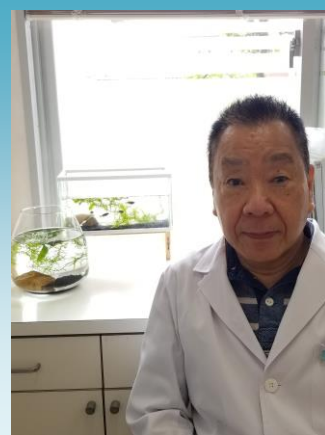
院長 古郷 博 先生

〒880-0905

宮崎市中村西 3 丁目 2 番 33 号

TEL : 0985-55-1777 FAX : 0985-55-1789

標榜診療科：精神科、心療科、内科



この度宮崎東病院の開放型病床登録医制度の一登録医としてごあいさつ申し上げます。

平素より宮崎東病院の皆様、とくに精神科の橋口浩志先生、赤松馨先生にはご指導いただき感謝申し上げます。

当院は平成 11 年 2 月開院し、平成 17 年 12 月に現在の中村西 3 丁目に移転して現在に至っております。

精神科・心療内科を標榜し、一般診療の他に心理士による心理療法・カウンセリング、デイケアに力を入れて取り組んでまいりました。入院施設を持たないクリニックにおいてどういう治療ができるのか、患者さんが社会参加できるようにするためにはどんな支援をすればいいのか、また我々の一番の課題でもある自殺予防をいかにすべきか問答の日々を重ね 22 年が経ちました。明確な答えは出せておりませんが、当院スタッフ（看護師 6 名、心理士 3 名、精神保健福祉士 1 名、事務 2 名、補助 1 名）に常日頃支えてもらい、多くの医療機関の皆様、訪問看護や介護に携わる事業所の方々、また患者さん・ご家族に励まされて今日があるものと感謝しております。

数年前から患者さんに頂いたり、買い求めた「めだか」が数十匹に増え、水槽も今では 10 個近くとなり待合ロビーに置いています。その水槽の水換えや掃除にやや疲弊しておりますが、患者さんの「癒されます」という一言に満悦する今日この頃です。

我々医療に携わる者のたゆまぬ努力を継続する上で、宮崎東病院の皆様には相変わりがせぬご指導いただけますようお願い申し上げます。



※開放型登録医制度

宮崎東病院では平成 16 年 9 月より開放型病床を設置しております。

開放型病床とは、かかりつけ医師（開業医）と宮崎東病院医師（主治医）とが連携して、入院診療を行うというものです。患者様にとっては、かかりつけ医師との関係がとぎれることがないため、入院院への不安が軽減されます。現在、104 医療機関の先生方にご登録いただいております。

派遣応援ナースを終えて

今回6月1日～6月30日の期間国の要請により派遣応援ナースとして出向してきました。場所は関西地区でも有名な神戸市立医療センター中央市民病院への派遣でした。

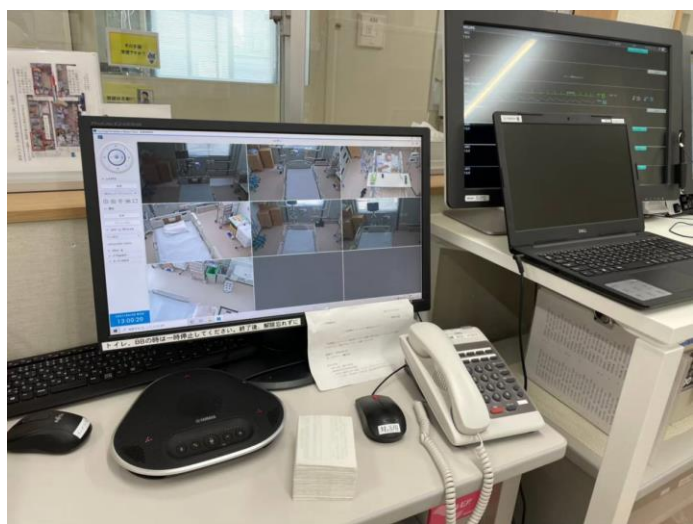
正直申しますと、報告をしなければいけないという思いも無かったので、資料や記録を一切保存していなかった為記憶があいまいなところがございますがご了承をお願いします。

神戸市立医療センター中央市民病院は768床の大きな病院で近くには神戸空港やメリケンパーク等があり神戸市の主幹たる病院でコロナ病床は重症病床が14床+処置室1床、中等病床が21床の計36床確保されていました。以下の写真でもわかる様に病院の敷地内に臨時病棟として2020年10月に新設されたプレハブの病棟となります。ここに所属していた看護師はE ICUの看護師がメインでしたが、後から話を聞いたのですが、患者が増えるにつれてG ICUの看護師を始め病院全体からICU経験のある看護師を召集された混合チームとの事でした。

1階病棟
看護師
首藤 淳一郎



経緯につきましては5月に入り看護部長から救急病棟の応援派遣ナースの依頼が来ているが出向出来るか意思確認され、この時、私の悪い癖ではありますが、人の話をよく聞いていない事と無知のため派遣応援ナースという言葉を知らず簡単に考えておりました。5月18日頃に派遣先の県と重症コロナ病棟の応援である事が知らされました。出向先の病院が決まったのは5月下旬で滞在先の宿や準備する物の知らせは出向の1週間前位でドタバタしながら出向した事を覚えています。この時は感染のリスクに対する不安よりも派遣先でやって行けるのかの不安の方が大きかったです。



派遣された時期としては今思えばピークを越え始めた時期の応援だったと思います。

6月1日派遣先のオリエンテーション、看護記録等のためのパソコンの使用法の説明などを受け、6月2日からサポートは付いていながらも早速実戦投入でした。医師は常時6~7名の救命救急ドクターが待機しており夜間も最低1名の同ドクターが常駐していました。6月上旬はエクモ(ECMO)装着患者はいなかったものの、14床中全てが呼吸器を装着した全身状態の悪い患者であり、派遣期限のある自分ですらも先の見えない過酷な環境、応援に来ているはずが、むしろお荷物になっているのではないかと思えるくらいの自分の力量の無さと無力感に包まれ派遣を途中辞退しようかと考えるほどで、感染爆発当初から患者と向き合ってきた市民病院のスタッフには言葉には出来ない物を感じました。





派遣先で求められたものは呼吸器の操作方法は当たり前であり、呼吸器の波形や患者の状態を観察しながら読み取る質の高いアセスメント能力であり、迅速な判断能力を必要とされているように感じました。勿論医師指示はあり、その指示の下で看護を行えばよいわけですが、先を見越しながら患者の安全安楽に努めている姿を何度も拝見していました。治療に関しては Covid-19 の治療ドクターが判断した患者の腹臥位療法、呼吸器に関しては VT を少なくし回数増やしての換気、早期抜管早期離床目的のため SAT, SBT、苦痛緩和の為麻薬の使用や鎮静剤の使用、循環動態のコントロール等を行っていましたが、重症化した患者は状態が急変しやすく常に緊張感を持ちながら接しており気付けば正午の休憩まで患者のケアにあたっていました。後半になれば2時間以内にマスク休憩をはさむタイミングはつかめるようになりました。

最後に皆さんが気になる事と思われるのは滞在場所の事だと思います。

今回は病院から徒歩10分程度のホテルに滞在させてもらいました。滞在先のホテルはかなり豪華なホテルで部屋も1人で使うには大きすぎる部屋でした。感染対策の一環とは思われますが、派遣看護師は同じ階の部屋に集められており看護師も隔離されているような感じは否めませんでした。食事は各自調達で部屋には電子レンジ等の調理器具等はない為、場合によっては冷えた食事を食べることもありました。休日の日中は近くで外食の方が気分転換にもなります。長期滞在するなら豪華なホテルよりコインランドリーと電子レンジがあるビジネスホテルなどが良いなと身に染みて思いました。

また休日の行動制限に関しては派遣先の病院から明確に制限する言葉はなかったですが、緊急事態宣言下であり外出して、もし感染してしまった場合、応援に来た意味がなくなってしまうことが気が掛かり、公共交通手段を使っての外出は、人手が多く気が引けました。医療現場と世間のギャップを大きく感じた一面でもあります。可能であれば自分の車に乗って行けば人との接触も避けられ気分転換もできると思います

以上が派遣応援ナースを終えての感想になります



新型コロナウイルスワクチン接種について

なかなか収まらない新型コロナウイルスの猛威に、心も体も疲れてきている中、8月には第5波がやってきました。新型コロナウイルスに対して、ワクチン接種が有効であるとされ、ワクチン接種を勧めていく必要があり、当院では令和3年始めより開始しました。

外来
看護師
原村 潤子

3月から医療職に対する接種を開始し、自施設の希望する職員は全員接種することができました。自施設職員の接種終了とともに、地域の医療従事者に向けて接種を開始し、7月までで終了しました。並行して5月より、かかりつけ患者および地域の方を対象に、1日に30名程度の小規模接種から、1日に100名程度の大規模接種へと変更し対応しました。



8月までですべてを合わせて、1196名のワクチン接種を完了しています。

大規模接種を行うにあたり、医局、看護部、事務と何度も話し合いを重ね、患者さんに安全に投与できる環境を整えていきました。大規模接種での接種に関しては、医局、看護部、事務だけでなく、薬剤科はワクチンの準備からシリンジへの充填作業を行い、放射線科や栄養科、検査科、リハビリ科、地域連携室等、多部門においては、患者の誘導、受付業務を担っていただきました。まさに、宮崎東病院が一丸となって取り組むことが出来た事業なのではないかと考えます。

当院でのワクチン与薬は世の中のほんの一部かもしれません。しかし、当院に通う患者さんを含め、皆様が少しでも早くマスクから解放される日を祈り、地域の助けになればと思います。今後も宮崎東病院をよろしく願いいたします。

3階病棟紹介

当病棟は、病床数50床（内有料個室14床）の神経難病病棟です。宮崎県の神経筋分野難病医療拠点病院として県内全域から患者様を受け入れています。主に筋ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、パーキンソン病などの重症神経難病の方が入院されています。入院目的は、確定診断のための検査入院や確定診断後の薬剤調整、誤嚥性肺炎をはじめとする合併症治療などです。

3階病棟
看護師長
岡本 洋子

神経筋疾患患者様は、四肢の筋力低下、全身の筋力低下、呼吸筋の機能低下のため、マスク及び気管切開を伴う人工呼吸器を使用している方もおられます。病状の進行に伴い、食事、排泄、呼吸などが困難となり、食事（点滴、経管栄養を含む）、入浴、口腔ケアなど日常生活の全てにおいて援助が必要となっていきます。患者様の病状の進行による身体及び精神状態、ADLに合わせた看護や意思決定支援など細やかな配慮が必要となります。看護においては、固定チームナーシングと受持ち看護師制を取り入れ患者様の安全を守りつつ個別性に合わせた看護を提供しています。

神経難病専門医と看護師を中心に理学療法士、栄養士、ソーシャルワーカーなど多くの医療スタッフが連携して患者様に向き合うことで、患者様の生きがいや生活の質が少しでも高められるよう日々努めています。さらに在宅支援として、人工呼吸器を装着されている患者様やご家族を支援するためのレスパイト入院にも力を入れており、ご家族と地域との連携も図れるよう全員で取り組んでいます。最近では、台風時の人工呼吸器装着患者様の緊急避難入院も受け入れています。また、気管切開などの延命処置を希望しない患者様も多くなり、緩和ケア担当医師が介入した終末期ケアも行っています。



編集後記 ようやくコロナウイルス感染第5波も落ち着き9月末で緊急事態宣言もされます。なんとなく安堵していましたが、ふとニュースを見ると、コロナ関係の労災認定が全国で14117件という驚くべき報道がなされていました。それで9月28日の記者会見を振り返り、内容や質問への答弁に奇異やずれを感じるのを禁じ得ない。見るべきところを見ていないのではないかと。国民の皆さんに感謝申し上げると言われても素直にはとても受け止められません。

あまり書くと差し障りがありそうなのでこの辺で。ちなみに本日、岸田氏が自民党総裁に選出されました。期待はしたい。